

The background of the entire page is a traditional marbled paper pattern. It features a complex, swirling design with a dominant color of deep red or burgundy. Interspersed within this red are intricate, organic shapes in shades of cream, light brown, and muted green. The overall effect is reminiscent of a microscopic view of a biological cell or a celestial nebula, with a sense of depth and movement. The pattern is dense and covers the entire surface of the book cover.

Le Diable Amoureux: Jacques Cazotte

紀田順一郎 荒俣宏

責任編集

世界幻想文学大系 ①



ジャコツト  
JACOTTE  
著  
渡辺一夫・平岡昇 共訳

国書刊行会



### 悪魔の恋

昭和五年二月一日印刷 昭和五年二月三日初版第一刷発行

著者——ジャック・カゾット

訳者——渡辺一夫 十平岡昇

発行者——佐藤今朝夫 発行所——株式会社国書刊行会

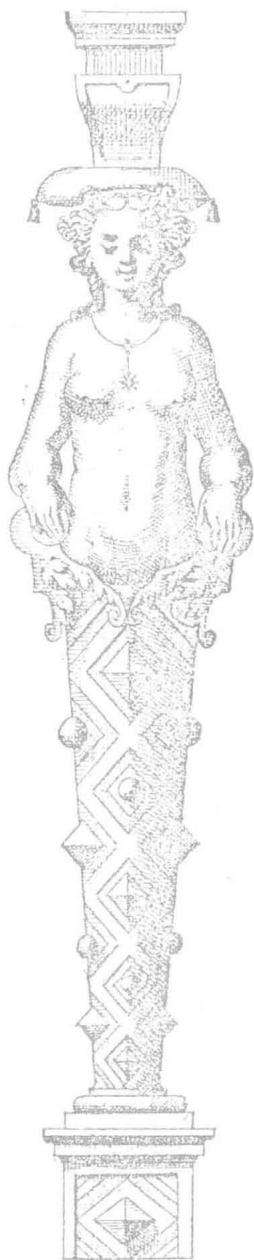
東京都豊島区巢鴨三—五—一八 郵便番号一七〇 電話〇三—九一七—八二八七 振替東京五—六五二〇九

造本——杉浦康平 十鈴木一誌

印刷——セイユウ写真印刷株式会社 十明和印刷株式会社 製本——大口製本印刷株式会社

定価——二、四〇〇円

●——落丁本・乱丁本はおとりかえます





①カゾット 渡辺 夫 + 平岡昇一 共訳 ★  
Le Diable Amoureux: Jacques Casseide

②マンクM.C.ルイス 井上二夫一訳 上★ 下★  
The Monk: Matthew Gregory Lewis

③ウィラランドC.B.ブrawn 志村正雄一訳 ★  
Wieland or Transformation: Charles Brockden Brown

④エジプトのイザベラA.ラウレンス 深田南一訳 ★  
Isabella von Agypten: Achim von Arnim

⑤放浪者メルモスC.R.ラチリン 富山太佳夫一訳 ★  
Melmoth, The Wanderer: Charles Robert Maturin

⑥セラフィータH.D.バルザック 沢崎澄一訳 ★  
Séraphita: Honoré de Balzac

⑦メイヤ物語T.ゴーチエ 田辺貞之助一訳 ★  
Roman de la Momie: Théophile Gautier

⑧魔性の女たちJ.バルドールグワイ 秋山和夫一訳 ★  
Les Diablesques: Jules Barbey d'Aurevilly

①魔術師W.S.キーム 田中四二部一訳 ★  
The Magician: William Somerset Maugham

②魔女の帯W.デラニア 船明子一訳 ★  
Broomsticks: Walter De La Mare

③悪魔の陽の下にG.ベルナクス 木村太郎一訳 ★  
Sous le Soleil de Satan: Georges Bernanos

④詩人と狂人達G.K.チエスタトン 福田恆存一訳 ★  
The Poet and The Lunatics: Gilbert Keith Chesterton

⑤現代ドイツ幻想短篇集G.マイリンク 他前川道介一編一訳 ★  
Deutsche phantastische Erzählungen der Gegenwart: Gustav Meyrink u.a.

⑥万霊節の夜C.ウイリアムズ 鎌谷昭雄一訳 ★  
All Hallow's Eve: Charles Williams

⑦創造者J.L.ボルハス 鼓直一訳 ★  
El Hacedor: Jorge Luis Borges

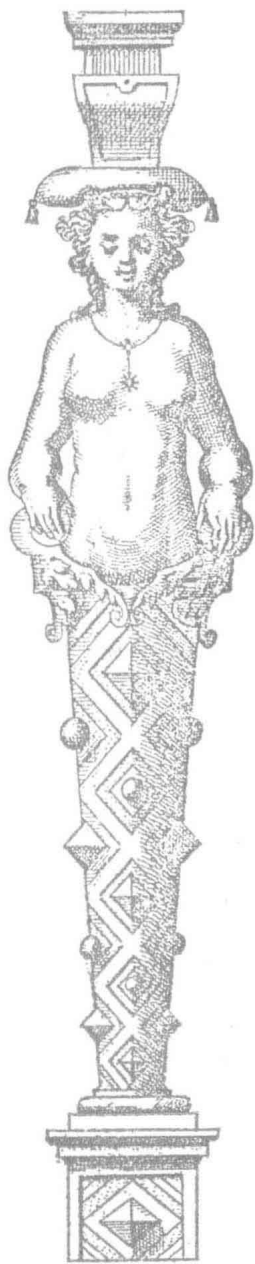
新刊—十五卷  
☆—次回配本 ☆—既刊





悪魔の恋

ジャック・カゾット——渡辺一夫+平岡昇||訳



# 目次



12 — 悪魔の恋 ジャック・カゾット

12 — 悪魔の恋 渡辺一夫＋平岡昇＝訳

12 — 出版者の前書き

18 — 第一章

26 — 第二章

34 — 第三章

42 — 第四章



48	第五章
58	第六章
66	第七章
76	第八章
86	第九章
92	第十章
98	第十一章
106	第十二章
112	第十三章
118	第十四章
126	第十五章





136——第十六章

146——第十七章

154——第十八章

160——第十九章

168——エピソード

172——異文

184——猫の足 平岡昇二訳

184——第一章

192——第二章

198——第三章

206——第四章

214——第五章

220——第六章

238——第七章

248——第八章

260——第九章

270——騎士と幻夢 平岡昇||訳

314——一七九一年聖ヨハネの日の前の土曜日から日曜日にかけての夜の私の夢 平岡昇||訳

320——カゾットのこと——渡辺一夫

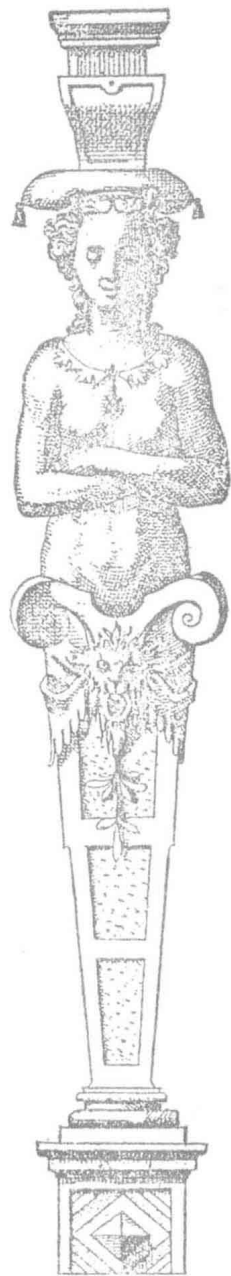
328——ジャック・カゾットの生涯と作品——平岡昇





悪魔の恋  
—カノット幻想小説集







悪魔の恋——渡辺一夫+平岡昇||訳





周知のように、公衆に献げさせていただくあらゆる作品は、版画で飾ることが必要で、欠くことのできないものなのに\*2、すんでのことこの作品は版、画なしにすまず破目におち入りそうであった。わが国のすべての偉大な芸術家は、つぶれるほど仕事をせおこみ、わが国のすべての版画家は夜な夜な彫りきざんでいるが、ほとんど間に合いそうにもない状態だ。それで作者は絶望していた。いくら金にあかせてもデッサンも版画も手に入れることができないでいたのだ。そんなものがなくて作品を公けにするのは、作品を台なしにするも同然だった。だから、作者は作品を篋底に秘めることに心を決めていた。ところが幸いにも、彼はある旅館で、ある種の天分豊かな人々の一人に出会ったのだ。それは自然が好んで作りあげるような、しかも手も足も出ないほど窮窟な芸術の規則にもけっして想像の力を抑えられないような人物なのだ\*3。ストラスブルからパリまで、どんなマントルピースでも、彼の構図の霊火や彼の描いたパイプのゆらぐ煙や彼の描いた喫煙者の哲人まがいの落ちつきはらった様子<sup>の</sup>痕跡をとどめないものはほとんどない。

彼は燃えるような、す早い着想を紙に走り書きしてくれた。そして、たとえ冷静なその道の物識りが、それに正確だが味気ない鑿うの凝った仕上げぶりを見出さないとしても、趣味高い人々は、必ずや表現の迫真性に打たれることだろう。降霊術のもっとも窺うい知れぬ秘密に通じている哲学者のような重みのある威厳や、勉学の熱意に燃え、その注意深さが足の先まで伝わっている達人のような貪婪な好奇心は、彼らには一目瞭然だろう。確実に彼らの目にとまらずにはいけないのは、雲から出てきて主人の命令に従い、合図があるとすぐに、主人の求めるパイプを主人の許もとに持ってくるソベラーノという地獄の従者の腕であり、結局、部屋の壁面に、魔法の力のこの驚くべき効果を表わしているたくみになげやりに配置された木版画を、いかにもさりげなく掛けておく、芸術家の才能の天衣無縫ぶりである。

魅惑的な筆で手つだった他の二人の才能ある画家の傑作を、なぜ我々は同じように詳しく述べてはいけないのか。しかも、なぜそれを拒むわけがあるのか。あるデッサンの精神、ある版画の表現は、大低の場合、この上もなく響きのよい、この上もなく上手に

\*1—この出版者の前書きは、作者カゾットの筆に成るもので、一七七二年の初版に依った。一八一七年の全集版では、始めの部分を少し改めて、

「作者の前書き」となっている（なお、本篇のテキストについては「異文」、「訳者解説」を参照されたい）。

\*2—本篇には初版の版画を全点収録した。

\*3—以上の部分は、一八一七年の全集版の前書きでは僅か三、四行で、「悪魔の恋」が天分豊かな芸術家の挿絵で飾られていることが書かれているが、訳者はヴァリアントとして再録の必要を認めなかった。

